

- 調査期間** 2012年9月16日～調査中
- 所在地** 伊勢原市子易
- 時代** 近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生、縄文、旧石器
- 調査原因** 中日本高速道路株式会社による新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 遺跡位置** 小田急小田原線伊勢原駅の北西約3.5kmの段丘上



主な調査成果

丹沢山地南東山麓から鈴川右岸段丘面に立地する遺跡で、これまでに縄文時代の集落（居住域・墓域・祭祀域）、古墳時代の横穴墓群、中世の屋敷跡・寺院跡・池状遺構など大きな発見が相次いでいます。2018年度も、縄文時代の集落のひろがりを確認したほか、環礫方形配石遺構が重複する住居など貴重な発見が多くありました。また、子易地区の鈴川右岸側では新発見となる古墳が2基検出されています。特に1号墳は、神奈川県内の古墳時代後期では初となる方墳の可能性が高く、石室を取り囲むように二重に廻る墳丘内石列や方形石積など珍しい墳丘構造を持つことが分かりました。石室内部からは、人骨のほか鉄鏃や耳環が出土しています。中世の石敷溝状遺構は、過年度に調査された寺院跡に関わる道路跡の可能性がります。



中世石敷溝状遺構



縄文後期中葉の敷石住居



1号墳（方墳）



2号墳（円墳）



中近世流路



調査状況（1）



調査状況（2）